



Japan Environmental Management Association for Industry

環境効率フォーラム(仮称)の概要について

(社)産業環境管理協会
環境経営情報センター

2004年10月 日本環境効率 1



Japan Environmental Management Association for Industry

環境効率フォーラム設立背景

- 環境効率フォーラムを通じて、わが国企業の実践を世界に対して一元的に情報発信することにより、環境効率に関する情報発信のインパクトを強める。
- 環境効率の意義及び市場価値が問われている。環境効率に取り組む考え方を社内外に広く普及する。
- 事例研究等を通じ、環境効率手法の活用、改善、発展等の検討を継続的に行う。
- 環境効率改善を实践する上で有効・必要な情報の入手先を提示し、情報交換及び交流の場をつくる。

2004年10月 日本環境効率 2



Japan Environmental Management Association for Industry

フォーラム設置目的

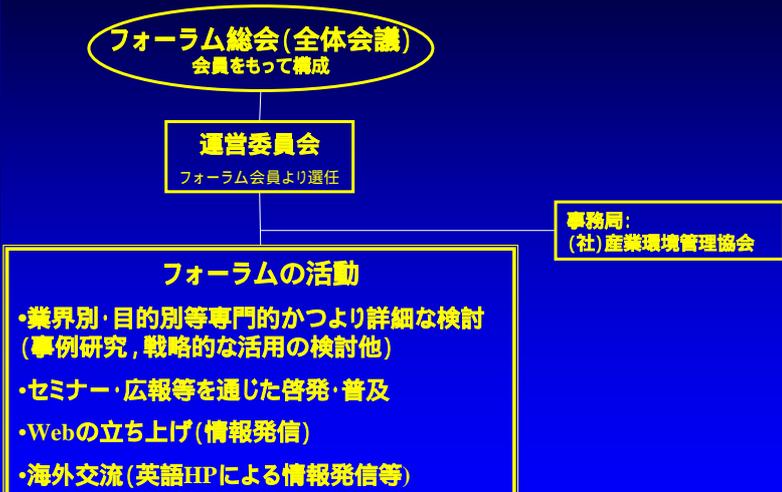
- 環境効率指標に取り組む企業，研究者を結集する場を設置することにより，我が国における環境効率に関わる情報の集中，発信および関係者間の交流を促進する。

2004年10月 日本環境効率 3



Japan Environmental Management Association for Industry

実施体制



```
graph TD; A([フォーラム総会(全体会議)  
会員をもって構成]) --- B[運営委員会  
フォーラム会員より選任]; B --- C[フォーラムの活動]; B --- D[事務局:  
(社)産業環境管理協会];
```

フォーラム総会(全体会議)
会員をもって構成

運営委員会
フォーラム会員より選任

事務局:
(社)産業環境管理協会

フォーラムの活動

- ・業界別・目的別等専門的かつより詳細な検討(事例研究, 戦略的な活用の検討他)
- ・セミナー・広報等を通じた啓発・普及
- ・Webの立ち上げ(情報発信)
- ・海外交流(英語HPによる情報発信等)

2004年10月 日本環境効率 4



Japan Environmental Management Association for Industry

フォーラム構成メンバー

- 会員は環境効率の普及・啓発推進に関心を持つ者とする。
 - 企業
 - 工業会
 - 団体
 - 環境効率研究者

2004年10月 日本環境効率 5



Japan Environmental Management Association for Industry

フォーラムの主な活動

- 1) 調査研究活動
 - 環境効率の活用の検討
 - 環境効率手法の改善、発展等の検討
 - 海外関係機関との継続的交流活動
- 2) 交流活動
 - 異業種交流, 情報収集の場の提供
- 3) 普及啓発活動
 - 我が国企業への環境効率の普及活動の検討
 - 環境効率に関わる情報発信(英語HPの立ち上げ)
 - セミナーの実施

2004年10月 日本環境効率 6



Japan Environmental Management Association for Industry

活動予定(案)

- 1) 調査研究活動
 - 定例研究会
 - 1~2ヶ月に1回程度, 企業事例等を基にディスカッション。内容によっては少人数のタスクフォースを設置することも検討。
 - 海外技術協定提携先との情報交換
 - 検討中(ブッパタール研究所, ヘルシンキ工科大, デルフト工科大, ルンド大学, CPM[スウェーデン・イノベーション庁のコンペティス・センター])
 - 海外研究者・企業人による講演会, 意見交換
- 2) 普及啓発活動
 - セミナー
 - HPを活用した情報発信

2004年10月 日本環境効率 7



Japan Environmental Management Association for Industry

運営委員会の主な役割

- 運営委員会は環境効率フォーラムの基本的な指針策定と総合調整を行う。環境効率に関する活動について様々な視点から協議する場とする。

2004年10月 日本環境効率 8



Japan Environmental Management Association for Industry

会員特典

フォーラムは会員制とし、会員特典を供与する。

- フォーラムHPへの企業の取組み先進事例掲載(英語HPの海外情報発信含む)
- セミナー等催し物案内、新規情報のアップデートに関するメール配信

2004年10月 日本環境効率 9



Japan Environmental Management Association for Industry

企業としての環境効率活用の目的

- 製品競争力・企業競争力の提示
 - 環境負荷削減・価値創出(ニーズ充足)のバランスアピール
- 意思決定のための企業内部管理ツール
 - 企業の環境活動方針・手段の評価指標
 - Sustainability, トリプルボトムラインの一側面としての環境効率
- 利害関係者とのコミュニケーションツール

2004年10月 日本環境効率 10

